



日本最大規模のスキー大会

「パーサーロケット」に由来

北海道のほぼ中央に位置する旭川では、厳しい北国の長い冬を楽しむ手段として、古くからスキーが生活の中に浸透しています。

旭川国際パーサースキー大会は、クロスカントリースキーと歩くスキーを通じて市民の体力向上とスキー技術の向上を図ることを目指しています。

この大会はスウェーデンで開催されている「パーサーロケット」という歴史ある大会に由来します。

一五二一年当時、スウェーデンはデンマーク領土でした。グスタフ・パーサーが独立を目指しダラーナ地方のモーラ村に行き独立への協力を求めたものの、デンマーク兵に追われノルウェーとの国境に近いセーレンまで一本ストックのスキーで八七kmもの雪原を逃れ、後にダラーナ地方の人々の協力によりスウェーデン独立を勝ち得たことが、彼を国民的英雄的な創始者としての地位を永遠的なものとなりました。スウェーデンでは、グスタフ・パーサー王の偉業を記念して、一九二二年からクロスカントリースキー大会「パーサーロケット」を開催しています。

旭川においても「伝統あるパーサーロケット」のような大会を開催できないものだろうか」と、当時普及し始めたクロスカントリースキー関係者、歩くスキーの愛好者など多くの人々の熱意により、一九八一年、一、八〇〇人の参加者をもって第一回大会が開催されました。第二回からは国際スキー連盟の公認を受け、今では参加者約七、〇〇〇〜一〇、〇〇〇人が集まる、国内最大規模を誇る大会となっています。

パフォーマンスコンテストも！

毎年三月、春分の日に旭川競馬場及びその周辺地域を会場に、初日は前夜祭、二日目は競技会が二日間の日程で開かれます。

種目は、クロスカントリースキーと歩くスキーの大きく二つに分かれています。クロスカントリースキーの部は、一般男子では四〇、二〇、一〇kmと六〇歳以上の五kmの部が開催され、一般女子の部では、二〇、一〇km及び五〇歳以上の五kmの部が開催されるほか、小学生や中学生の部もあります。各競技とも、ゴールが閉鎖される前にゴールした完走者には、「記録証」が発行されます。また、各競技こと上位一〇位が入賞となります。

一方、歩くスキーの部では、年齢・性別の区分なしに五、八、一五kmの部があり、制限時間内にゴールしたものが完走者となります。また、参加者に思い思いの姿で参加してもらい、個性で魅力的な参加の輪を広げていくために、第二〇回大会から「パフォーマンスコンテスト」を実施しています。団体最優秀賞・優秀賞（各一団体）、個人最優秀賞・優秀賞（各一名）の各賞があり、賞品は旅行券や旭川の特産品などで、競技性よりもいかにスキーに親しむかに重点がおかれています。

大会当日は、市役所前から大会会場までの無料シャトルバスを運行し、参加者や観戦者への利便が図られているほか、歩くスキーの参加者には、用具がなくても気軽に参加できるよう、無料でスキー・ストック・靴をセットで貸し出ししています。

「スキーの街・旭川」を強くアピール

国際大会にふさわしく、北欧三国の駐日大使



トップレベルの選手から初心者まで誰もが気軽に



国外からも多数参加

をはじめ一〇数か国から多数の人々が参加するまでに発展しています。第一〇回記念大会にはスウェーデン国王も参加され、二〇kmを走破しました。

室内に閉じこもりがちな長い冬、積極的に屋外で歩くスキーを行うことにより、健康の維持・増進・管理に大いに効果が上がっており、まさに生涯スポーツの実践となっています。

大会の定着により、国内外から多くの参加者が旭川市を訪れるようになってきており、「スキーの街旭川」を強く印象づけることができました。

市民との連携

大会の運営は、関係機関や団体などからなる組織委員会によって行われ、その下に実行委員会を配し、市民団体やボランティアからなる専門部会も設置して、大会の企画・運営・実施などを推進しています。なお、事務局は市役所内に設置されています。

大会運営には、競技・交通・警備など各部門で八〇〇人以上の市民ボランティアの協力を得ています。

また、全長三・五kmのコース造成にあたっては除雪作業や傾斜地を平坦にして参加者の安全を確保する作業がボランティアの手などによって行われています。

国内外への情報発信

大会は、冬のスキーシーズンの最後を飾る国内最大規模のクロスカントリーと歩くスキーのイベントとして定着、多くの市民に愛される大会となりましたが、道外からの参加者は横ばいの状況にあります。そのため、平成十一年度第二〇回大会から、新たに大会の実施要項やバーサーの歴史

を盛り込んだホームページを作成し、幅広い参加の呼びかけを行っています。今後も、広く国内外に目を向け、インターネットの活用など、時代に対応した積極的なPR等を行っていきます。

また、コースについては、大会前に約三か月をかけて造成しており、参加者などからは、質の高いコースであるとの評価を受けています。しかし、コースの一般開放は、大会前に数回しか行われていませんので、今後は回数を増やすなどして、コースの有効利用を図り、市民がより気軽にスキーに親しんでいただけるような大会運営を行っていききたいと思います。

世界の人々の心を惹きつける大会へ

第二回目となる今回の大会は、「バーサー」の名を冠したクロスカントリースキー大会を開催しているスウェーデン・モーラ市とアメリカ合衆国ミネソタ州モーラ市からの訪問団を迎え、国情や言語の違いを越え一層の連携を深め、世界多くの人々の心を惹きつける大会を目指す「バーサースキー交流会議in旭川共同宣言」に基づき三国交流会議（四年に一度、持ち回りで開催）が開催されるなど、例年以上に国際色豊かな大会として開催されます。

今後、多くの参加者に親しまれる大会として発展していくことを願っております。

旭川国際バーサースキー大会組織委員会事務局

開催日 二〇〇二年三月二十一日

会場 旭川競馬場・周辺丘陵コース

参加受付期間 二〇〇二年一月二十八日（木）まで

詳しくは、大会組織委員会事務局まで

電話 〇二六六二三 八三〇〇

<http://www.ahmic21.ne.jp/asahikawa-sports/Vasa/index.html>



華やかに盛り上げるパフォーマンスコンテスト



多くの市民ボランティアに支えられて



美しい自然の中で暖かな日射しを浴びながら初春を満喫